

かすみ通信

NO.4 - 4



2019/12/10

nkasumi.com

中西香澄（なかにしかすみ）昭和55年3月22日生
愛媛県生・埼玉県出身。専修大学（法学部政治学科）卒。
長女出産後に松戸に移りすむ。

小1、小4、小6、中2の4人の子どもと夫の6人家族。
松戸市議会議員1期目／無所属・無党派／会派 市民力

【発行元】松戸市秋山72-7 TEL090-9689-4660
FAX047-392-8241 メール hinadaiminataka@gmail.com

初めての決算議会

9月の議会では30年度の松戸市の事業が適切に行われたかチェックし認定するかしないかを決定します。大きくは予算が適切に執行されたかをチェックします。具体的には事業の目的・目標が達成されたのか、成果がどのように表れているのか、不用額（予算で設定した額と実際に使った額の差額）の金額と理由をチェックしました。また私は予算を審議した時は議員ではありませんでした。ですから知らない事業が沢山。聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥。という事で違和感を感じた所は片っ端から質問させていただきました。（担当した方からは面倒くさい議員だと思われた事でしょう）
地方自治法第2条には「地方公共団体は・・・最小の経費で最大の効果を上げるようにしなければならない」と定められています。この観点から見ると違和感だらけです。

数字目標がない、効果は数字では表せない、把握していない、難しい、こんな回答が繰り返されました。

・不用額は多いのに予算は足りない？！

市民からの請願や事業提案に対しては「予算が不足している」とすぐに返ってきます。余ってしまっている額が多すぎます。30年度全体の不用額はよそ39億円。足りていない事業と割かれている割合の低い事業、不用額が発生している事業のバランスが悪いです。度重なる不用額への質問に対して、異例の質問されていないのに自ら財務部長が答弁にたちました。市の財政が足りないという一方、不用額が発生しており、予算と執行に対して職員の精査が甘かったことが問題であるならば、それは改善していかなければならないという旨の内容でした。迅速な改善を期待します。

・説明責任はいつ果たす？

30年度の評価に当たって認識しておく必要があると考えましたので教育長に対して、お持ちのビジョン、また教育委員に求めている事、30年度のいじめ防止対策委員会の報告について質問しましたが回答なし。いじめ防止対策委員会の報告については、課長が議会への報告の予定はありませんと一度回答がありました。他の議員からも指摘されたことを受け、教育長が答弁に立ちました。説明については解決してから報告とのこと、ビジョンについては言及なし。日本各地で魅力的な教育改革を成功させている公立学校が見受けられます。

なかにしけの
ひとつま
こと"もご"ろく



↑3連休は子連れで電車で会議に行ってきました。

一年生の末っ子が突然
「空気は読むものじゃなくて
吸うものなんだよ！！」
と大人みたいなことを言い始め、
家族で大爆笑。
一体どこで覚えたのでしょうか。
子どもの発言は大事なことを教えてくれます。
時に空気とは反していても
やるべきことをやるのみ！と
改めて感じたひと時でした。

やめて！ムダ使い！

コンサート運営に600万円！？

- ・チケットは2500円！
- ・招待議員席はガラガラ！！
- ・満員御礼でも赤字！！

これは6/1に森のホールで行われたブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルトコンサートの内容です。

市の社会教育の実現の為、文化振興財団が市民に良質な文化的催し物を提供しますが、補助金ありきで改善の努力もない今の運営方法は問題です。そこで最低でも

- ・運営に経営感覚を持つ！
- ・補助金を減らし運営できるように
- ・脱・一部の人しか利用しない企画が必要です。

「最小の経費で最大の効果を！！」

を上げるのは地方自治体の責務です。

その要因は教育長や校長といった現場のリーダーの卓越されたリーダーシップにあると私は見えています。松戸市の教育がどんな方向に行くのか、最低でも毎年出される教育施策の中から一言でも回答があるかと思ったのですが残念です。後日じっくり説明して下さるとのことでしたので、お話を聞いてきたいと思います。

1人の議員としてまだまだ力不足であること、けれども小さくとも粘りずよく行動していく事で結果は変わるという事が分かった委員会でした。